

今井 女子200平 世界切符

女子200メートル平泳ぎ決勝で力泳する今井 東京アクアティクスセンター



女子200メートル平泳ぎで2連覇し、6年ぶりの世界選手権代表入りを決めた今井月。「この日に向けてやってきた」。ゴ

勝利の瞬間

得意の終盤に抜け出しV

試行錯誤重ね、6年ぶり大舞台へ

ール後、電光掲示板で自己ベスト更新を確認すると笑顔がはじけた。
勝負は得意の終盤に仕掛けた。150メートルのターンまでは100メートル平泳ぎを制した青木玲緒樹（ミズノ）にリードを許すも「先行されると思っていた。どれだけ冷静でいられるかが大事」とプラン通り。「自信はあった」と最後の50メートルでギアを上げると、強敵をきつそうに抜き去った。
5日の100メートル平泳ぎは5位に沈み、自信を失いかけていた。「（200メートル決勝で）自己ベストが出るとは思わなかったし、（決勝に）残れないんじゃないかとまで思った」。それでも最後は自分を信じ、納得の泳ぎで自信を取り戻した。
2017年を最後に代表入りは遠のいていた。21年の東京五輪も「代表を争うレベルではなかった」と振り返る。種目や練習環境を変えるなど試行錯誤を重ね、再び世界への挑戦権をつかんだ。
「（当時は）若い勢いで運も味方して入った。今回は実力で勝ち取ったと思うのですごくうれしい」とかみしめた。
パリ五輪切符が懸かる7月の世界選手権は22年ぶりの国内開催。東京五輪を逃し、自国開催の世界大会にかける思いは強い。「平泳ぎは日本のお家芸。代表として恥じないレースをして強さを証明したい」。自信と強さを取り戻した22歳は、五輪への階段を駆け上がる。（浜田悠）